

2023年度(令和5年度) 「子ども司書」養成講座

「子ども司書」は、たくさんのお子どもたちに本に親しむことの楽しさやすばらしさを広め、様々な本を手にとってもらうために活動するリーダーです。

7月1日(土)に、「子ども司書」を目指す福山市内の児童(15名)が、福山市中央図書館で、全体研修(1回目)を行いました。

子ども司書になるためには

- ・ 2回の**全体研修**に参加する。
- ・ 図書館での**実地研修**に3日間参加する。
- ・ 図書館で1回、学校で4回以上**読書推進活動**をする。
- ・ 日本十進分類法にほんじっしんぶんるいほうによる10の区分の中から、5種類以上の本を、それぞれ2冊以上読む。
- ・ おすすめの本を紹介する**ポップ**を作る。

全体研修(1回目)

- 1 講 話 子ども司書になろう
- 2 講義・演習 日本十進分類法を学ぼう
- 3 活 動 図書館の**秘密**を知ろう
- 4 講義・演習 読み聞かせ名人になろう



講話：子ども司書になろう



子ども司書の役割、これからの活動の目的を確認しました。本が大好きな15名は、たくさんの方が本に親しむことができるよう、やってみたいことや**頑張**りたいことを考えました。

「面白い本」を教えてと言われたときに答えられるように、いろいろなジャンルの本を読みたいな。

講義・演習：日本十進分類法を学ぼう

なぜ分類するのか、どのように分類するのか、日本十進分類法を学び、本の分類に挑戦しました。

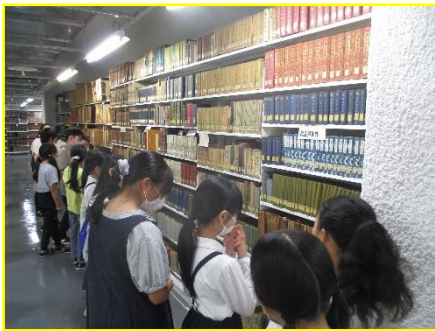


分類って楽しい。
これから本を選ぶ際は、背ラベルを確認してみようと思いました。



活動：図書館の秘密を知ろう

ふだん入ることができない図書館の裏側（閉架書庫 など）を見学しました。



大きくて重たい本（約7kg）があってびっくりしました。



いろんな本があり、なんでも学べる場所だな。



古い本がたくさんあり、きれいに整理されていました。

講義・演習：読み聞かせ名人になろう

読み聞かせの本の選び方や持ち方などを学びました。



本選びの際、相手の好みを考えることが大切だな。



ページのめくり方にも気をつけよう。

15名の受講者は、地域の図書館での研修を通して、図書館での仕事や本の紹介の仕方を学んだり、各図書館や学校での推進活動を通して、本のすばらしさを伝えたりしていきます。

